



会長挨拶

会長 向山倍生

4 月 12 日の会員総会も無事終わり 2025 年度がスタートしました。例年通りのクラブ行事を進めて行きたいと思います。

初心者講習会には 6 名の方が参加されビギナー歓迎会、卒業式を経て 5 名の方が卒業されました。7 月には会員として登録し新しい仲間として日本スクエアダンス協会にも登録されました。皆さんの温かいご協力ご支援をお願い致します。

今年度はアニバーサリーを開催せず、9 月 23 日(火・祝)にゲストコーラーに金子浩行さんをお迎えして特別例会を開催する事としました。コロナ禍のあと初めての開催になりますが大勢の方が参加して楽しみたいと思います。終了後は全員参加型の懇親会も予定しています。

土曜例会と木曜例会の会員の親睦を深める良い機会となる懇親会となるように祈念しています。

コロナ禍もだいぶ落ち着き各所でパーティーもたくさん開催されるようになってきました。

会員の皆さんも気を配りながらコロナ禍前のようにパーティーに参加して楽しんでいただきたいと思います。



69 号の主な内容

1. 会長挨拶
 2. 第 44 回埼玉ジャンボリー式典挨拶
 3. ハッピーハートグループ特集記事
 4. 越谷 SDC クラブイベント
 5. 他のクラブのパーティーに参加して
 6. 県連開催パーティー
 7. 全日本コンベンション in 長良川
 8. 第 10 回連載コラム(第 1 話)
 9. 編集後記
- 裏表紙 2026 年 体験教室へのお誘

2. 2025 年 9 月 14 日第 44 回埼玉ジャンボリー式典挨拶

S 協参与 辻田 満

本日はS協の参与としての立場でご挨拶させていただきます。本日ご参会頂いております多くの方々はS協会員です。その皆様には是非とも機会があればお話ししたいと思っておりますことをお話しさせていただきます。

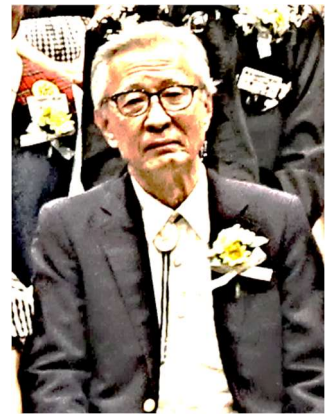
1980 年に設立された日本スクエアダンス協会は当初法人格のない任意の団体でした。任意団体の規約では、協会の設立の目的を簡潔に表現するとすれば「愛好者の愛好者による愛好者の為の組織」でした。そして、2010 年に法人格を取得して一般社団法人日本スクエアダンス協会設立となり、その定款の活動目的には「スクエアダンスの普及振興を通じて国民の健康で豊かな生活の実現に寄与する」と明記されております。私達の活動は「公益を目的とする事業」を行う法人となり、不特定多数の人の利益を実現することを目的として活動する組織として新たに活動を開始したのです。おそらく愛好者の大多数は、自らが公益を目的とした法人の一員であることを意識していないのが実情だと思います。コロナ禍で激減した仲間を増やすことにどのクラブも力を入れていることと思いますが、なかなか思うように仲間を増やすことは上手くいかず意気消沈している方々が多いことと思います。

そこで、本日は皆様に「Socimo (ソシモ)」という言葉をご紹介したいと思います。この言葉は「ソーシャルモチベーション」の略語です。簡単に言うと、人は社会のために何か役立つことをするとそれ自体が自分のやりがいと生き甲斐となると言うことです。即ちスクエアダンスを通じて広く社会に役立つ活動をする事自体が、自らのスクエアダンス活動をより楽しく、より豊かなものにすることができ、それこそがまさに「公益性のある活動の意義」となっているのです。私たちの取り組みは国の施策である健康長寿社会の実現に向けての明らかな貢献であり、私たちは日本スクエアダンス協会の一員として社会的役割を果たす絶好のチャンスであることを知り、「Socimo (ソシモ)」でスクエアダンス普及活動に取り組んで頂ければと願っております。

ひとりより、ふたりで、ふたりよりみんなで

ご自分の楽しみだけでなく、みんなを笑顔にする方が人は頑張れます。

これからは「ソシモ」で普及活動を頑張りましょう！



3. ハッピーハートグループ特集記事

3-1. 多摩ハッピーハート 43 周年アニバーサリーに参加して

30 期生 古屋 綾子

2025 年 3 月 20 日に府中ルミエールにて多摩ハッピーハート 43 周年アニバーサリーが 250 名の参加者で開催されました。ゲストコーラーさんはジェーカーズの島田さん、城東の大上さん、東京の若松眞紀子さんと、皆様のそれぞれのコールは、ダンサーにとって心躍るひと時でしたが、ゲストコーラーさんに多摩ハッピーハートの金子 Jr さんも加わって 4 名でのミックスコールは、更に素晴らしく普段経験する事が出来ない雰囲気の中でスクエアダンスが踊れてワクワク感がとまらない貴重な体験になりました。



また、若松さんよりお揃いのコスチュームについて黒地に白のバッファロー柄の素敵なシャツを既製品で準備した事や、スカートにバッファローの刺繍を施したことの裏話もあって、皆さんの素敵なコスチュームを拝見する事を楽しみにしている私にとって興味深いお話でした。

中盤で開催されたセレモニーでは、多摩ハッピーハートの中村会長より「心はいつもあったかハッピーハート」を合言葉に活動されている事や、会員の高齢化に伴う新人募集に関しての対策として、例会の開催時間や日程を細分化して会員さんのスキルにあわせた例会を取り入れる事を実施されて、今年は初心者講習会に 8 名参加されたなどのお話がありました。その後関東統括支部長の若松さん、東京スクエアダンス連絡協議会 会長の島田さんから御祝辞があり、辻田相談役からはハッピーハートグループは多摩からスタートしてグループ活動も 15 年が経過し、ハッピーハートのグループ内での勉強会の実施や困ったときには互いに横のつながりで助け合える関係性にある内容のエピソードの御披露がありました。

今回のパーティーは個人的に膝に支障があって、スクエアダンスのパーティーには参加出来ない日々を過ごしていましたので、長時間のダンスは不安でしたがハッピーハートグループの多摩の 45 周年のアニバーサリーという事で参加させて頂きました。しかしながらひとたび音楽が会場に響き渡り素晴らしいコーラーさん達のコールに合わせて踊れることが楽しく、通常歩くことにも違和感があるのですが、何か不思議なアドレナリン？が出るのか、痛みよりも楽しさが勝って「スクエアダンス」の効果があって楽しい時間を過ごすことが出来ました。

また、他のクラブの会員さんとお話を通して、男性が女性役をされてスクエアを楽しんでいるクラブがあることや、私よりご高齢でもスクエアを楽しまれている方が沢山おられる事も伺えて、皆様よりパワーを頂き交流も楽しむことが出来たパーティーでした。



3-2. 春日部 15 年アニバーサリーを終えて（寄稿文）

春日部 SDC 白土タエ子 様

やっと出来ました。十五周年記念アニバーサリー。皆、一致団結し、良い笑顔で、一生懸命楽しみました。各自、決められた持ち場を離れず、念願のアニバをやり遂げました。

開催迄、私達は全員での打ち合わせ、各担当毎の綿密なすり合わせをして、当日に臨みました。開催までの過程はそれぞれに深い思いあり、言葉では言い尽くせない位、感慨深いものでした。数年前までは、会員数も多い方でした。それでも、会員全員が、忙しい中、気配り、心配りを忘れず、そして、各々楽しんでいる様子も感じられました。ホントに皆さんお疲れ様でした。

当日は、一番バッターで、当会長とのコールでした。一緒にコールすることは、ほとんどないので、ドキドキでした。やはり、失態して当会長に迷惑をかけてしまいました。でも、いらして下さった皆さんが、笑顔で、それぞれの華やかなコスチュームで、楽しそうに踊って下さっているので、大満足でした。

今回は、辻田さんはじめ、待ちに待った田島さん、ハッピーハートグループの早々たるメンバーの素敵なコール、今日は、勉強会でしたかと思う程。踊れなくても幸せ一杯にさせていただきました。でも、ちょっぴり司会をされていて、羨ましく思いました。

盛会なダンス会場を見て、開催する前の不安の数々。何人参加してくださるのか・・・不足なものが無いか・・・お客様への配慮など・・・心配だらけを思い出しました。踊っている皆様の笑顔に、一同皆、頑張ったねと。

春日部アニバーサリーに参加して下さった大勢の皆様、お手伝いして下さった越谷の皆様本当に有難うございました。私達も大満足でした。

私自身のコールは、まだまだです。皆さんに支えられて、頑張っております。

どうぞ、まだまだの新人コーラーですが、これからもよろしくお願い致します。



3-3. 第 11 回ハッピーハートグループ合同パーティー・挨拶 多摩 SDC 会長 中村禮子 様

第 11 回の合同パーティー、奥村さん始め日野スクエアダンスクラブの皆様のご尽力で、このように素晴らしい充実したパーティーになりましたこと、まずお礼申し上げます。



2010 年に第 1 回が開催され、それから 15 年、この間いろいろな辛い出来事もありましたが、年輪を重ねてきました。そして、私たちも、15 年歳を取ったということ、日々を大事に生きていかなければならないという年代になってきました。

今年の初めにお寺から頂いた冊子に、五つの「一日一しょう」という心に残った言葉がありました。クラブの新年会でもお話しさせてもらいましたが、皆様にも参考になるかなと思ひ照会させていただきます。

- 1 つ目の、「一日一生」 一日一日を大事に生きましょう。
- 2 つ目の、「一日一笑」 笑顔を大事にしましょう。笑顔は周りの人も幸せにします
- 3 つ目の、「一日一省」 毎日一度は、自分を振り返ってみましょう
- 4 つ目の、「一日一承」 周りの人たちを受け入れ、学び取っていきましょう
- 5 つ目の、「一日一照」 一日一善 自分のできることで貢献しましょう。

一日一日大事に生きる、笑顔を大事にする、毎日一度は自分を振り返ってみる、周りの人たちを受け入れながら、学び取っていくこと、そして自分にできることで貢献していくこと、そしてこれはクラブの活動においても、同じことが言えるのではないかと思います。

最後になりますが、これからの 15 年は、これまでの 15 年と違って、今いるリーダーたちがどの程度活動できていけるか、かなり難しくなってくることが予測されます。今まさに、次世代を育て、なかまを増やしていくことが大事になっています。ハッピーハートグループもこれらの課題に向かって、協力し、連携しながら取り組んでいきましょう。そして次世代を担っていく方々には、是非ハッピーハートグループのこの繋がりを大事に、持続して行ってほしいと思います。ということで、これからもこの繋がりを大事に、ハッピーハートグループの皆様の活動が充実されていきますことを最後に祈念して、挨拶を終わります。

3-4. 第 11 回ハッピーハートグループ合同パーティー 副会長 清水 英雄

ハッピーハートグループは年に一度、合同パーティーを催しています。



コロナ禍の時期は中止されていましたが、令和 6 年から再開されて、令和 7 年 8 月 24 日に第 11 回の合同パーティーが開かれました。

グループの六クラブの会員が集う、他のパーティーとは雰囲気異なる場で、参加者は楽しい時間を過ごしました。

合同パーティーでは、ダンス後に懇親会があります。

今回もダンス後に同じ会場で立食式の懇親会が開かれ、参加者は「歓談」と「各クラブの余興」を楽しみました。越谷クラブは『め組のひと』を伴奏にしてカントリーダンスを踊りました。

前日（8 月 23 日）の例会でも練習をし、動作を覚えたつもりでしたが、いざ本番に臨んだら私は動きが分からなくなり、頭が混乱してしまいました。

今回の幹事は日野クラブでした。日野クラブの皆様に感謝いたします。

4. 越谷 SDC クラブイベント

4-1. 越谷 SDC 初心者講習会受講・卒業して

34 期生 水上 文男

私が、スクエアダンスを知るきっかけは、会社の先輩から、草加でパーティーをやるので、見学に来ませんかの一声からでした。昨年 6 月の事です。今年に入って、2 月の体験教室、4 月～6 月、毎週土曜の講習会に参加させていただきました。基本の動作や動きを、先輩方から指導してもらっていますが、なかなか動きについていけず、足を引っ張っている状況です。卒業と言われて、恥ずかしいくらいです。いまだに、緊張しています。まず、目標はリラックスして楽しく踊れるようになりたいと思っています。今後は、わからない事は、講習会の際、質問したいと考えています。どうぞよろしくお願い致します。



4-2. 初心者講習会を卒業して

34 期生 垣上 なな子

初心者講習会のご指導、楽しかった新人歓迎会、そしてびっくりの卒業式、本当に有難うございました。無事卒業できて、ほっとしています。

初めてスクエアダンスを習って、四角や円等の隊形が次々に変わっていくので、どう動いていいのか、また動きについていけなくて頭が混乱し、難しいなと思っています。でも、先輩方のサポートが素晴らしく、ダンスで向きと方向がわからずに戸惑っている私を動かしてくださるので、なんとか踊れて？います。そして「回数重ねると段々踊れるようになるから大丈夫！」との先輩方の言葉に励まされています。越谷ハッピーハートの先輩の皆様は、とてもフレンドリーで優しくて楽しいです。こんな歳になってこんな素晴らしいサークルに入れたのが幸せです。



時間が許す限り、身体が動く限り、頑張って例会に出席しますので、よろしくお願いします。

4-3. SDC 初心者講習会に参加して

34 期生 大月 フサ子

何も知らずにポスターを見て向山さんに連絡。その後ネットで SDC の踊りを見て「あ～失敗」。最初の講習会に参加して、こんなに人が多くてどんな教え方をするのか～。大汗かきかき何が何だかわからないうちに終わり「やって行けないかも～」、5 回 6 回と「あ～難しい」踊れるようになるには回数を重ねるのが 1 番だよと。講習の時間を 1 時間特別に割り当ててくれていると知り、出来る限り参加してみたら「何とかなるかな」。50 の手習いを遥かに超えて始めた SDC に会員の皆様が「上手になったね」「踊れるようになるには 2～3 年掛かるよ」って励ましてくださって。6 月に入ると踊れない中でも所々言葉が聞きとれてきて少し楽しくなって「続けられるかも～」と、そうしたらコスチュームの件が出て来て「本当にあの動画のドレス着るんかい～」でもスカートワークを教えて貰ったら「何か楽しいね～」34 期生の仲間と励まし合い続けてこられたのも会員の皆様の温かい言葉やご指導のお陰で無事に楽しい卒業式を迎えることが出来ました。引き続き 34 期生をよろしくお願い致します。



4-4. SDC 初心者講習会に参加して

34 期生 滝本 洋子

30 年程前に、既に入会していた友達に声を掛けられて、ダンス例会を見学したことがありました。当時の私は、仕事・家事・介護で余裕がなく前向きに成れずに諦めてしまいました。この度、越谷広報で体験者募集を知り、「歩くだけの軽い体操、まずは体験だけでも」と参加することにしました。

ここ数年は体力、足腰の衰えを心配していた時でした。その後 3 か月間の初心者講習へと進み、何と卒業証書を頂くことになるとは、夢にも思いませんでした。仲間の方々、皆さんとてもやさしく、励ましてくださって自然と輪の中に入ることが出来ました。最後に行う「サンキュウ!!」のかけ声は、仲間の一員になった様な気持ちになります。長い年月を経て、再び巡り合えたスクエアダンス、縁があったのでしょうか。体力が続く限り、皆さんと一緒にずっと楽しく踊っていけたらと思います。これからもどうぞよろしくお願い致します。清水公園での交流歓迎会、温かい卒業式、心に残る思い出になりました。



4-5. 初心者講習会を卒業して

34 期生 山岸 洋子

先輩方の御指導のおかげで、第 34 期初心者講習会を無事終了することができました。卒業式では多くの方から温かい「おめでとう」のお言葉を頂き、思い出に残る素晴らしい時間を過ごすことができました。感謝の気持ちでいっぱいです。

スクエアの衣装を着用することには少し抵抗が有りましたが、皆さんが素敵に着こなしている姿を見て、新人が揃って着ると気持ちも華やぎ、これは癖になるかな…と。また新人歓迎会、清水公園での BBQ では丁寧に焼いていただいた美味しいお肉や野菜を囲みながら、先輩方と楽しい交流ができ、とても充実した時間を過ごささせていただきました。ありがとうございます。広報の募集がきっかけでしたが、こんなに温かく魅力的なサークルに出会えたこと、本当に幸運に思っています。

踊りはまだ未熟で、ご迷惑をおかけしていますが、これからもよろしくお願い致します。



5. 他のクラブのパーティーに参加して

5-1. 所沢サンデーメイツアニバーサリーに参加して

30 期生 田中 栄

春分も過ぎ暖かい陽気の中、所沢サンデーメイツのアニバーサリーに参加しました。

主催者によると参加者は 145 名強とのことでした。コーラーさんの勢いのあるコールで大勢の方が所狭しとダンスを楽しんでいました。特に、パーティーの最初と最後には 3 名のコーラーさんの爆弾コールが印象的でした。他にも多くのコーラーさんやキューアーさんが参加されて、とても良い経験をしました。特に外国の方のコールは初めてでしたので、聞き取りが難しくて何度もセットを崩してしまいました！

今回 私は体調の関係で、SD を 2 ヶ月お休みしての参加でした。自分ではマスターしたと思っていた MS も、いざ踊ってみたら忘れてしまったコールが、幾つかありました。切磋琢磨して皆さんと向上し努力して行きたいと思います。

いろいろなパーティーに参加するのも、とても良い勉強になると思いました。



5-2. 志賀サマージャンボリーに参加して(長野アップル SDC アニバーサリー) 副会長 村山 友子

越谷 H・H から 7 人参加しました。ゲストコーラーは UP Beats (金子ジュニア・島田秀行・大上徹) 豪華 3 人です。涼しいかなと思っていたら汗ビッショリです。一日目は、14 時～17 時半まで踊り、夕食も好きな物を食べ野菜天ぷらが美味しい。メロンも沢山食べました。その後オプションの「ホテル鑑賞」にバスで行き、途中から徒歩で下の水辺まで行くのに坂道を歩き、真っ暗な中「ポォッ」「ポォッ」と光が飛んでキラキラしていました。坂を下ったので帰りは上って行きホテルを観るのは大変でしたが一日目の夜は気持ち良い眠りにつきました。



二日目は、私は 9 時から RD ワークショップを選びました。二つ目の会場は PLUS、MS、UP Beats 会場でした。昼食後はコンベンションホールでは AD フルーツタイム(スイカ) C1 が開催されていましたが、私は大広間で開催の MS RD P フルーツタイム(スイカ) MS P RD を選び UP Beats のコールで満喫して汗ビッショリで終わりました。

部屋に戻り夕食まで休憩し、19 時からキャンプファイヤーが行われました。外は涼しく大きな輪を作り、今回の火の神様に奥様達が点火し炎が燃え上がり、懐かしきオクラホマミキサーやマイムマイムを踊りスクエアダンスを夜空の中で楽しみました。

三日目の朝、朝から暑い中を元気に UP Beats のコールを楽しみながら暑さに負けず踊り、また逢う日まで……。とにかく熱い志賀でした。



5-3. リリーズ 30 周年アニバーサリーに参加して

27 期生 小林 育子

8 月 10 日(日)ルミエール府中で開催されたリリーズのアニバーサリーは 300 人を越える参加者でした。2 会場に分かれての多彩なプログラムとゲストコーナー・ゲストキューアーの方々と豪華でした。コロナ感染症での外出自粛の影響で 6 年ぶりのアニバーサリー開催となったそうです。スクエアダンス集団のデモンストレーションは、見事でした。ラウンドのデモダンスは「オペラ座の怪人」企画は和田会長の気合が伝わるダンスです。恒例のスイカタイムも美味しくいただきました。



久しぶりのパーティー参加、楽しい 1 日でした。リリーズの皆さんありがとうございました



6. 県連開催パーティー

6-1. DoSaDo パーティーに参加して

33 期生 上田 恵子

晴れの舞台を大いに楽しもうと思いつつも、間違えずに踊れるか、緊張ばかりでした。

当日は参加人数の多さに驚きました。遠方から何時間もかけて来て下さることの有難さを思いました。300 人近くにもなると会場もいっぱい、後ろの人とぶつつかってしまうほど。ちょっと間違えてもあまり目立たず、ほっとしたのです。

(苦笑)

パーティーがどんなものなのか、行ってみるまではイメージも湧かなくて余計なことばかり案じていましたが、踊りの輪の熱量の中でたちまち消え、ただ夢中でいました。

県内外に数多くのクラブがあって、こんなにも盛んであったのだと改めて知りました。同じ好きな趣味を目指す人々が集うのは、エネルギーが増幅しますね。あれから半年。場数を踏むということの大切さを実感しています。皆さま、ありがとうございました。



6-2. DoSaDo パーティーに参加して

33 期生 福地 ヒデ子

越谷スクエアダンスクラブに入会して、見聞きすることのすべてが目新しく、不安の中 DoSaDo パーティーに参加させていただきました。

いざ踊りに入ると、初心者講習会で習ったことや忘れていることも多く、初めて聞くコーラーさんで戸惑い、周りの方に迷惑かけているなど感じつつも先輩方のサポートを受けながら、何とか楽しむことが出来ました。大勢の中で躍ることで楽しい気持ちになり、参加出来て良かったなと思いました。いつも私が思っていることですが、先輩方は本当に凄いなと感じて少しずつでも近づけたらいいなと思います。

これからも楽しく踊れるように、自分のペースで頑張って楽しんで行きたいと思います。



6-3. DoSaDo パーティーに参加して

33 期生 平塚 淳子

生まれて初めてのスクエアダンス・パーティー。緊張の中、先輩の皆さんに守られて参加させていただきました。先輩の皆さんにいろいろと声をかけていただきました。

- ・パーティーでいつもと違う経験をすることの大事さ。
- ・これから先に待つ階段の長さ。
- ・土台である基礎を固めておく大事さ。
- ・やさしく気づかって下さるお言葉。等々。

そんな中、最後のチップでのことです。他の所のビギナーさんも加わり、ビギナーが4人集まってしまいました。すかさず代わろうかと気づかって下さる中、先輩が「いいんだ!」「じゃまするな!」「スクエアダンスはチャレンジと芸術だ!」とおっしゃり、私たちをチャレンジの世界に連れだして下さいました。先輩方が上手にリードして下さいる中、いつの間にか心も踊り始め、嬉しくなっていました。一人ではなく、皆で作り出す芸術、それがスクエアダンスなんだと。本当に、いろいろなことを知ることができた、DoSaDo パーティーでした。



6-4. DoSaDo パーティーに参加して

33 期生 福田 明美

先輩のリードのおかげで、無事 DoSaDo を終えることが出来ました。ありがとうございます。

時折り心が折れそうなときも沢山ありますが、皆様の大丈夫よ！大丈夫よ！という声掛けに励まされながら続けてこられました。感謝・感謝です。これからも、よろしくお願い致します。



9月5日から7日までの間、岐阜グランドホテルにおいて全日本スクエアダンスコンベンション In 長良川が盛大に開催されました。

博多、仙台に続き三度目の参加となります。

関東では連日猛暑が続いていますが、長良川も負けず劣らずの暑さでした。岐阜に向かう途中折からの台風15号の影響で、新幹線が浜松でストップして一時間以上会場到着が遅れてしまいました。



初日は午後からの参加でしたが、その参加者の多さに驚きました。主催者の発表によれば、何と1000人近くのダンサーが日本全国から長良川に集結してスクエアダンスに興じたとのことでした。

二日目に参加したオプショナルツアーの長良川鵜飼ツアーでは、長良川の水面に浮かぶ船の上で、鵜たちが獲った鮎を頂きました。

篝火に集まってくる鮎を、鵜匠と鵜の息の合った連携プレーで捕まえていく様子はいつまで見ても見飽きません。猛暑の中でも川面を渡る風は一服の涼を感じさせてくれました。

三日目、今回もコールにエントリーしました。朝一番目のコールでとても緊張しました。マイクを持つ手が震えているのが自分でも分かりました。

それでもなんとかハッシュとシンギングを無事に終えることが出来ました。

同じ会場でコーラー仲間もコールするため、自分も応援で残りました。

三日間でダンスも観光も堪能して、思い出も沢山作ることが出来ました。帰路の新幹線の車内では、次回横浜でのコンベンションの話題で盛り上がりました。来年も是非参加したいと思います。



8. 第10回連載コラム（第1話）

スクエアダンス普及活動のパラダイムシフト

相談役 辻田満

第10回連載コラムは「スクエアダンス普及活動のパラダイムシフト」です。第1話は1. はじめに、2. パラダイムシフトとは？です。

1. はじめに

1980年に設立された日本スクエアダンス協会（以下S協）は世界でも類を見ない愛好者の団体として組織され今日に至っております。そして、組織としての成長のバロメーターとして設立当初から一貫してS協会員を増やすことに力を注いできたのではないのでしょうか。

確かに戦後の日本経済の成長と相まって設立当初(1980年)2,000人程度の会員が2012年には設立当初の7倍強の14,580人規模にまで一気に成長を遂げてきました。しかし、2012年以降はその成長も日本経済の成長の低迷と少子高齢化とまさしく相まってピタリと止まり明らかにマイナス成長をたどり始めました。そのマイナス成長に追い打ちをかけるように2020年3月にコロナウイルスのパンデミック宣言により僅か2年足らずで一気に会員数は30%も減少してしまっただけです。

一方、スクエアダンス発祥の地でもある本場アメリカのスクエアダンス人口の推移を見てみましょう。アメリカにはS協のような愛好者の組織はないので正確な数字とは言えないかもしれませんがコーラーラブの資料（アメリカの推定ダンサー人口）によると1980年には30万人いた愛好者はコロナ禍前の2014年にはピーク時の僅か17%の5万人にまで減少してしまっているのです。現在、この人口はコロナ禍で更に減少していることは想像でき、アメリカの愛好者の高齢者集団の現状を鑑みるともう誰も解決できる状況にないと言っても過言ではないと言えるのではないのでしょうか。

アメリカのこの愛好者の低迷はずばり愛好者の高齢化であると分析されております。日本における愛好者の年齢構成を見てみますと1980年の設立当初の愛好者の年齢構成は20代、30代でした。それから40年が経過し2020年の愛好者の年齢構成は60代、70代となっています。この年齢構成の推移から10年後が見えてきます。2030年にはこのまま推移しますと愛好者の大多数が70代、80代になるということです。

2. パラダイムシフトとは？

このままアメリカと同じ道を辿るのであれば間違いなく十数年後の愛好者の規模は2千人規模にまで低迷してアメリカと同様に愛好者は高齢者集団となりもうその時点では誰も解決できる状況にないと事態に陥っているのではないのでしょうか。

今ならまだ10年と言う猶予期間があります。今ならまだこの素晴らしいスクエアダンスを次世代に繋ぐポテンシャルが残されています。それには唯一スクエアダンス普及活動のパラダイムシフトしか方策はありません。

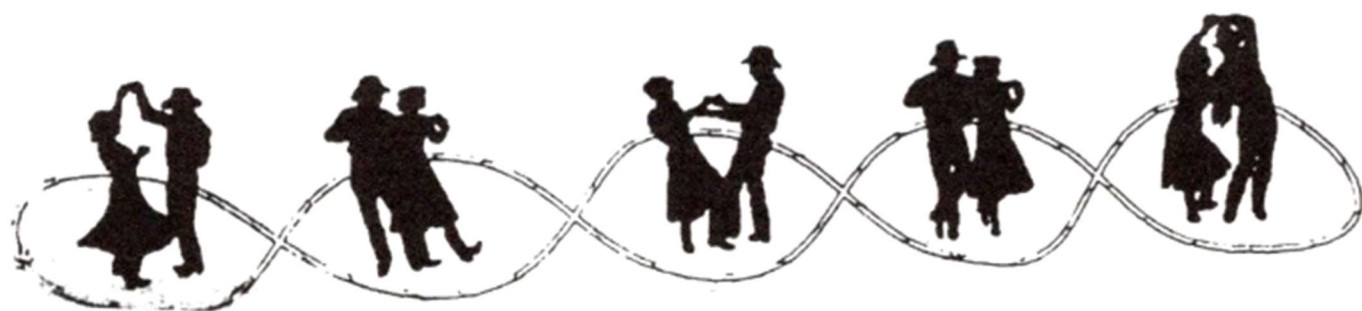
パラダイムシフト(英: paradigm shift)とは、その時代や分野において当然のことと考えられていた認識や思想、社会全体の価値観などが、革命的に、もしくは劇的に変化させること。パラダイムチェンジとも言われています。すなわち今こそ普及活動自体が今までと同じ延長線上で活動が続けていてはいけない事態が目前に迫っている危機感を待つことからスタートです。

突然のコロナ禍の災いでS協は「スクエアダンスルネッサンス」を掲げました。ルネッサンス(仏: Renaissance)とは、「再生」「復活」などを意味するフランス語です。一義的には古典古代(ギリシア、ローマ)の文化を復興しようとする文化運動がそもそもの語源となっている言葉です。しかし、従来の延長線上には「スクエアダンスルネッサンス」はあり得ません。

今回のコロナ禍の災いは不幸中の幸いで私たちにこのままではこの素晴らしいスクエアダンスというレクリエーションを次世代に繋げて行くことは難しいことに気づかされたので

す。今こそルネッサンスではなくパラダイムシフトの具体的な挑戦を始める時なのです。

(次号に続く)



9. 編集後記

今回は、「33期生のDoSaDoパーティー参加しての感想」と「34期生の皆さんに初心者講習会を経て卒業しクラブの一員になった率直な感想」を寄せていただきました。

クラブ訪問頂いたクラブは、

- ・3月27日(木)例会に、春日部SDCの会員23名の方が訪問され、第25回春日部スクエアダンスアニバーサリー5月18日(日)開催のお知らせがありました。併せて、春日部SDC白土様にはアニバーサリーに関しての寄稿文をお願いしました。
- ・4月05日(土)例会に、県連東部地区SD交流会 in 草加市立勤労福祉会館で6月01日(日)開催の幹事クラブの八潮SDC会長山下様が訪問され、例会ではコールをして頂きました。
- ・7月10日(木)例会に、スクエア リリーズの会長和田公代様他3名の方がクラブ訪問され、30周年アニバーサリーが8月10日(日)に開催されることのお知らせがありました。

また、いろいろなクラブでパーティーが再開されたので、当クラブから参加された会員の方には、参加した時の臨場感を伝えてもらうために参加状況を寄稿いただきました。

特に、8月24日(日)開催の第11回ハッピーハートグループ合同パーティーに関しては、多摩SDC会長中村禮子様には合同パーティー・挨拶を、併せて寄稿いただいた副会長清水様と、9月5日(金)～7日(日)開催の全日本コンベンションに関して寄稿いただいた29期生の黒沢様には、次号第70号では半年過ぎて参加した熱い思いが伝わらないとの判断で、短期間で寄稿いただいたことは広報部として深く感謝申し上げます。

これからも、皆様の「スクエアダンスに対する熱い思いと記憶」が残せる編集に心掛けて行きますので、ご協力をお願いします。広報部一同



スクエアダンス体験教室へのお誘い

START

スクエアダンスはアメリカ生まれの軽快な音楽に乗って歩くダンスです。軽度な運動と脳トレにもなる優れたものです。お気軽に体験をしてみませんか？体験教室終了後に4月から開催します初心者講習会にご案内します。

スクエアダンス体験教室

開催日：

●木曜クラス 2026年3月5日（木）、12日（木）

14時～15時

●土曜クラス 2026年3月7日（土）、14日（土）

18時～19時

参加費：無料（各クラス全2回）

ご希望のクラスを選択してお申し込み下さい。

会場：木曜クラス：越谷市中央市民会館3階ホール

土曜クラス：越谷市北部市民会館4階ホール

講師：向山 倍生

（日本フォークダンス連盟公認指導者）



（動きやすい服装でご参加下さい）

（事前申し込み先）

会長 向山 倍生

電話：090-8117-5453

e-mail：mon@hh.ij4u.or.jp

16

主催：越谷スクエアダンスクラブ